

PRESS  
RELEASE



山王美術館  
コレクションでつづる

# 横山大観

# 梅原龍三郎展

2023年9月1日[金] ▶ 2024年1月29日[月]



〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目2番27号

[お問合せ] 06-6942-1117

<https://www.hotelmonterey.co.jp/sannomuseum/>

JR「京橋駅」・京阪「京橋駅」・大阪メロ「大阪ビジネスパーク駅」より徒歩5分

山王美術館

コレクションでつづる

# 横山大観 梅原龍三郎展

2023年9月1日[金]-2024年1月29日[月]

## 主旨

2023秋・冬コレクションではコレクションの中より近代日本画、洋画壇の巨匠である「横山大観」と「梅原龍三郎」を取り上げます。

日本を代表する日本画家である横山大観。明治元年に生まれ、西洋の影響を受け始めた時代において、日本画の新しい潮流を推し進め、明治・大正・昭和と三代を通じて日本の近代画壇を牽引し続けました。

一方、若き日にフランスに留学した洋画家・梅原龍三郎は印象派の巨匠・ルノワールに師事し、色彩豊かな作風で注目を浴びます。その後は日本画の伝統を洋画の中に融合させた、絢爛な色と大胆なタッチが織りなす装飾的な日本独自の油絵を生み出します。

日本画と洋画と、画家としてのジャンルは違い、年齢差もある二人ですが、深く日本の伝統に立ち返りながら、近代世界に通用する「日本の絵画」を創造した点に大きな共通点を見いだすことができます。

ともに、独自の画境を追い求めた「横山大観」と「梅原龍三郎」。  
当館のコレクションを通じて二人の画家が築き上げた芸術の世界をお楽しみください。

みどころ

# 横山 大観展

1868-1958

□会期 2023年9月1日[金]～2024年1月29日[月]

□会場 5階 展示室にて

横山大観展では当館収蔵の大観作品の中から朦朧体による初期作品、生涯に1,500点も描いたと言われる富士、装飾性豊かな彩色画、独自の技法による水墨画など選りすぐりの20作品を「朦朧体」「大観と富士」「彩管報国」「大観と水墨画」の4つのテーマに沿って展示致します。明治・大正・昭和と長きにわたる画業での作風や技法の違いを見比べてお楽しみ頂けます。



広報用作品①

横山大観《日本心神》1946/山王美術館蔵



広報用作品②

横山大観《海嘯》1952/山王美術館蔵



横山大観《東山》1932-35頃/山王美術館蔵



広報用作品③

横山大観《不二霊峰》1905/山王美術館蔵

みどころ

# 梅原 龍三郎展

1888-1986

□会期 2023年9月1日[金]~2024年1月29日[月]

□会場 4階 展示室にて

大正・昭和を通じて日本の近代洋画界をリードした梅原龍三郎。  
本展では2度目の渡欧後、日本的な油絵を描くという自らの課題へと突き進む過度期に描かれた作品から、梅原様式といわれる自由闊達な力強い筆致と色鮮やかな色彩による作品まで当館収蔵の梅原作品全23点を一堂に展示致します。  
梅原独自の画材や技法を駆使した絢爛豪華な作品の数々をご覧ください。

NO IMAGE

梅原龍三郎<<ブロンズと牡丹>>/山王美術館蔵

NO IMAGE

梅原龍三郎<<修善寺>>1927年/山王美術館蔵

## 常設展

□会期 2023年9月1日[金]～2024年1月29日[月]

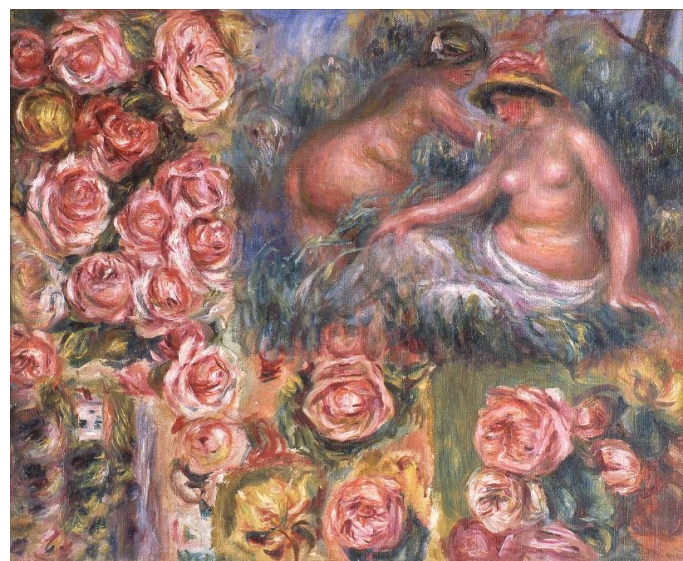
□会場 3階 展示室にて

山王美術館はホテルモントレ株式会社が50数年にわたり収集したコレクションのみを展示する美術館として2009年、難波に開館、昨年9月に京橋・OBPへと移転致しました。600点におよぶコレクション群は、近代の西洋絵画・日本洋画・日本画・陶磁器・彫刻と多岐にわたります。

本展では日本近代洋画の父ともいわれる黒田清輝をはじめ、安井曾太郎・金山平三・小磯良平の近代日本の洋画にくわえて、日本の近代洋画界に大きな影響を与えたルノワール・ボナールの作品のほか、平櫛田中の彫刻を展示致します。

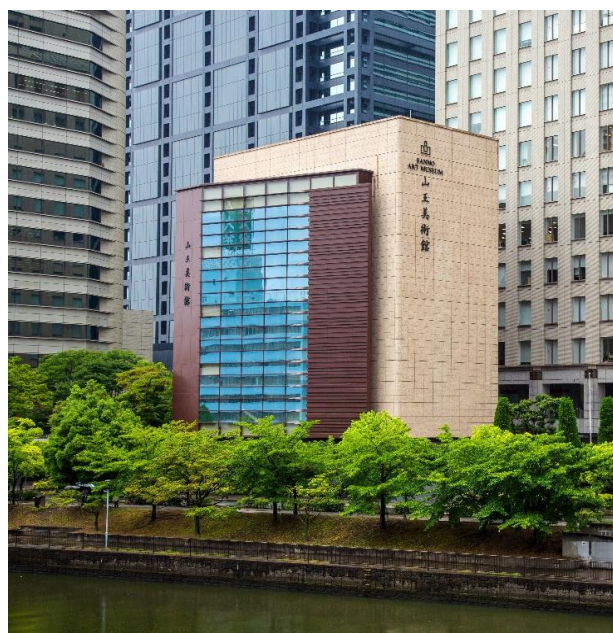


黒田清輝「夏(野遊び)」1892年/山王美術館蔵

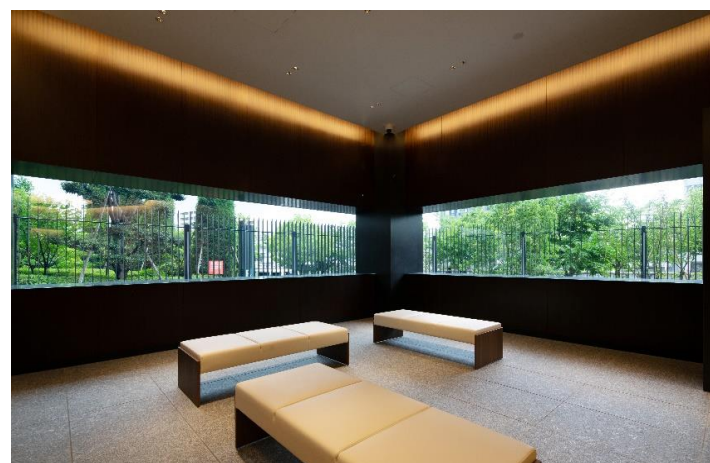


ピエール＝オーギュスト・ルノワール

「裸婦と花の習作」1915年頃/山王美術館蔵



山王美術館(外観)



山王美術館(内観)

## 関連概要

- 展覧会名 コレクションでつづる  
横山大観 梅原龍三郎展
- 主催 一般財団法人 山王美術館
- 会期 2023年9月1日[金]～2024年1月29日[月]
- 休館日 火曜日・水曜日 年末年始(12月29日～1月3日)
- 開館時間 10時～17時(入館は16時30分まで)
- 会場 山王美術館  
〒540-0001  
大阪府中央区城見2丁目2番27号  
TEL 06-6942-1117  
HP <http://www.hotelmonterey.co.jp/sannomuseum/>
- アクセス ○ JR環状線・東西線「京橋」駅、西口改札・南口改札より徒歩5分  
○ 京阪本線「京橋」駅、片町口改札より徒歩5分  
○ 大阪メトロ長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅、4番出口より徒歩5分
- 入館料 大人 1,300円  
大学・高校生 800円  
小・中学生 500円  
※学生証をご提示ください。  
※中学生以下、保護者(18歳以上)同伴に限り2名様まで無料

## 広報 について

- 広報について  
このプレスリリースに掲載されている広報用画像①～③につきましては、  
画像データをプレス掲載用にご用意しております。  
また、読者プレゼント用招待券もご提供しております。  
「広報用画像資料申込書」に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにて  
ご連絡くださいませ。

### [問い合わせ先]

一般財団法人 山王美術館  
担当: 本田 亜紀子(ほんだ あきこ)  
TEL 06-6942-1117  
FAX 06-6942-8700  
E-mail [a.honda@hotelmonterey.co.jp](mailto:a.honda@hotelmonterey.co.jp)  
〒540-0001  
大阪府中央区城見2丁目2番27号